

令和5年度 高等学校「書道」研修 実施要項

- 1 目的 芸術科（書道）における鑑賞学習について、生徒の資質・能力の育成に向けた指導方法や指導内容の工夫について理解を深め、実践的な指導力の向上を図る。
- 2 対象 高等学校及び支援学校（高等部）の教員
- 募集人数 20名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	7月24日（月） 14:00～17:00	芸術科（書道）における鑑賞学習の理論と実践 〔講義・演習・協議〕	奈良教育大学 教授 萱 のり子 大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他
- （1）受付は30分前から。
 - （2）来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - （3）自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
 - （4）事前に準備しておく事項があるので、研修対応ポータルサイトを必ず確認すること。
- 6 担当室 高等学校教育推進室

令和5年度 高等学校「書道」研修 シラバス

3302

1 目的

芸術科（書道）における鑑賞学習について、生徒の資質・能力の育成に向けた指導方法や指導内容の工夫について理解を深め、実践的な指導力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期										○	○	○			
第1期										○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	芸術科（書道）における鑑賞学習の理論と実践	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞学習で育成する資質・能力について理解を深める。 書を鑑賞する際の多様な観点への理解を深める。 書作品等の鑑賞を通して生徒の中に起こる変容とはどのようなものかについての理解を深め、生徒が主体的に鑑賞活動に取り組めるようにするための学習プランについて考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解し、鑑賞学習を充実させるための方法を考える。 鑑賞による授業実践の内容を検証、共有し、生徒の学びの過程を質的に高めていく幅広い授業改善の工夫を学ぶ。 鑑賞の学習プランについて検討し、その内容を共有する。 	準備物 <ul style="list-style-type: none"> 学校で使用している教科用図書 授業で行った鑑賞学習に関する資料等